

地方CR活動

高知県協会

介護福祉士養成給付型奨学生 卒業激励会を開催しました

高知県協会（会長：藤岡整 住友生命高知支社長）は、生命保険協会が実施している「介護福祉士養成給付型奨学金制度（1989年度より開始）の今年度対象の奨学生2名ならびに担当の先生方をお迎えし、2月12日に昼食を兼ねて卒業激励会を開催しました。

藤岡会長からは「ご卒業・ご就職、本当におめでとうございます。4月から就職される障がい者介護に携わるお仕事は想像以上に大変だと思いますが、ご自身の理想とする介護福祉士を目指して下さい。今後も応援しております。」との開会挨拶があり、続いて、担当の先生から奨学生のお二人の『人となり』についてご紹介頂きました。その後、お二人への卒業記念品（名刺入れ）の贈呈を経て、昼食会がスタートしました。昼食会は終始和やかな時間で、若いお二人のキラキラした瞳が印象的でした。

最後に、奨学生から今後の抱負を語っていただきました。「生命保険協会から奨学金をいただいたお陰で集中して勉学に励むことができました。感謝しています。卒業後は、ご利用者様、そしてご家族から信頼される介護福祉士になりたい。頑張ります。」との強い決意と覚悟がにじむ言葉をいただきました。お二人の4月からのご活躍を祈念しております。

なお、高知県協会では、今年度の2名を加えて累計68名に、全国では累計6,154名に奨学金を支援しています。

当協会は、引き続き地域社会の福祉活動に取り組んでいきます。

